

キーパーラボ直営店が120店舗を越し

「店舗別実績表」の掲載が困難となり、次号8月号より無くなります。

皆さんの手に今届いているKeepPer TIMES(キーパータイムズ)7月号は月刊でvol.256を迎えます。

2回くらいは休刊していても、ほぼ毎月発刊されてきたはずなので、計算上の創刊は(256+2)÷12=21年6か月になるので、2024年7月-21年6か月=2003年1月であるはずなのだが、実際のキーパータイムズ創刊号は2001年5月に出ています。とすると2024年7月-2001年5月=23年+2か月となり、今月はvol.278になるはずだが、実際はvol.256で、22回分の誤差は何なのか?ひょっとしたら、初めの3~4年間くらいは毎月発行ではなかったのかもしれない。しかも、キーパータイムズはその前に、「快洗TIMES」と名乗っている時代が何年かあるので、その「快洗TIMES」の時代まで含めるとたぶん、25年~27年間くらいの歴史があるはずだ。



キーパータイムズは2001年5月25日に創刊。モノクロでまさに新聞サイズであった。

いずれにしても、きちんと毎月発行になったのは15年前に、今の編集者が関わるようになってからであることは間違いありません。そうでなければキーパータイムズは、未だに



キーパーラボ(当初は快洗隊)の販売実績を掲載するようになったのは2003年10月号から。当時は4店舗であった。

そんなキーパータイムズに、キーパーラボ(当初は快洗隊)の店舗ごとの販売実績を載せるようになったのは2003年10月号から。

KeepPer技研(当時はアイ・タック技研)が、日本各地のガソリンスタンドに対し、キーパーを活用した洗車収益の向上を提案して活動している中で、キーパーがいかにお客様に支持されるのか。自らがそれを実践しなければ嘘だろうということで、快洗隊を運営しはじめました。

そして何年か経つ中で、数字も公表すべきだとしてキーパータイムズに実績を載せはじめ、自らにプレッシャーをかける意味も含めて掲載を続けたのです。

この昔のキーパータイムズを見ていると、約20年前の快洗隊の数字が、今の同じ店舗のキーパーラボに比べて、すごい数字になっています。

2004年9月の快洗隊知立店の洗車コーティング等の実績は1,289,800円。2023年9月のキーパーラボ知立店の実績は6,735,689円(対比522%)。

2004年9月の快洗隊安城店の洗車コーティング等の実績は1,445,150円。2023年9月のキーパーラボ安城店の実績は7,541,426円(対比521%)。

19年の間に両店とも5倍以上の数字になっているのは驚きます。

このキーパーラボ実績報告は、KeepPer技研(株)が東証に上場して以後、FC店の実績は、直営店と実績と混同されると粉飾となる恐れがあるので、この実績報告からFC店の実績は外さざる得なくなっています。

このキーパーラボ実績報告が、同じ地域の店舗の数字の傾向を、自社の参考にされたり、ライバル心を燃やしてご覧になったり、たくさんの方が見ていらっしゃることを当社の営業からもよく聞きます。

しかし、来月8月号の7月分店舗別の実績報告からキーパータイムズへの掲載を無くすことになりました。

キーパーラボも店舗が急速に増えて来て、現在のキーパータイムズの紙面でも2列の表現に変えてきましたが、さらに2024年7月からの1年間に30軒の新店オープンの計画が進んでおり、すぐに今の方法でも紙面に入りきらなくなります。

そこで、やむなくキーパータイムズへの掲載を断念するに到ったのです。また各店舗によって前年同月に改修工事で休業期間があったり、今、いろんな理由で休業の期間があったり、産休、育休、病欠などが重なって、フルの営業ができなかったりと、店舗によって多彩な事情が発生し、前年との比較が困難であったり、店舗ごとの事情を明記しきれなくなってきたので、東証への開示も四半期ごとということになります。

しかし実績を隠す意思は毛頭ありませんので、キーパープロショップの皆さんは担当営業にお聞きいただければ、お知りになりたい店舗の数字は報告させていただきます。

フレッシュキーパー 夏場の施工をキレイに乗り切るために!

フレッシュキーパーの施工台数が毎月、ぐんぐん伸びています

「汚れの密着を防ぐ独特な防汚能力」を持つフレッシュキーパーは、ホコリが降り積もっても塗装表面には密着せず、自然の雨が降れば、元々持っている撥水力で雨と一緒に汚れが流れ落ち、まるで洗車をしたかのようにキレイになるのが特長です。その効果を1年間感じられたお客様から「とっても良かったから、また施工を」と、リピートされる方が続出しています。

それに加えて、定期的に放映をし

ているテレビCMの内容との親和性も良く、また、SNS上での評判とも相まって、新規で施工されるお客様も増えていて、毎月の施工台数がぐんぐん伸びています。

キーパー技術コンテストの参加者が過去最多更新中!

そんなお客様の期待値のとても高いフレッシュキーパーの施工技術を身につけるべく、トレーニングスクールへの参加者も急増中で、その身につけた技術力を確かめるべく、現在、開催中の第9回 2024年 キーパー技術コンテストへの出場者数も過去

最多となる5,133名(6月30日時点)となっています。

これから本番を迎える夏場は、気温の上昇とともにフレッシュキーパー施工時の「ECOレジン」のムラつきに要注意!

ECOレジンは、塗布した液剤を拭き残したまま時間が過ぎると、拭き上げにくくなります。特にこれから気温が上昇する夏場は、液剤そのものの硬化が早くなるため、右記の3点に注意することで、安定した品質かつ作業の効率化につながります。

- ①塗装面の温度が高くないよう、炎天下での作業を避け、日陰で施工。
- ②それでも、拭き取りにく感じた時は、施工スパン(範囲)を、1パネルの半分ごとに施工。



- ③塗布用スポンジの表面が固くなってきたら、新しいスポンジに交換を。